学校番号	３２０

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	帝国書院「新詳地理Ｂ」						
副教材等	二宮書店「データブックオブ・ザ・ワールド２０２０年版」 帝国書院「図説地理資料　世界の諸地域 NOW 2020」						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

第Ⅲ部では、現代世界の地理的考察を通じて現代世界の諸地域を学びます。これらの学びを通じて、国際社会で主体的に生きるとともに、平和で民主的な社会をつくっていくために必要な思考力、判断力、表現力を身につけることを目指します。

２　学習の到達目標

①現代世界の諸地域を，歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し，現代世界の地理的認識を養います。
②地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養います。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○地理的諸事象，ないしは現代世界の諸地域や諸課題に興味・関心を抱き，それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ，結びつけることができる。 ○地理学習の意義を積極的に見いだし，そこで得た知識・技能・態度をより良い社会生活へ向けて，ないしは現代世界の諸地域で起こっている諸課題の解決に生かすことができる。	○地図化する過程を通じて地理的諸事象をさまざまな角度から分析・考察・解釈し，そこから地理的概念や規則性（地理的見方・考え方）を見いだすことができる。 ○現代世界の諸地域の特色について歴史的背景との関わりから地誌的に考察することができる。 ○地理的概念や規則性をもとに，現代世界の諸地域で生じている諸課題の現状について把握することができる。 ○現代的諸課題を，世界諸地域の特色を踏まえて，その背景・要因・解決策を多方面から追究し，より良い社会のあり方を持続可能性という観点から提言することができる。	○地理学習に必要とされるさまざまな資料を収集し，それらを的確に取捨選択し，調査・分析することができる。	○地理的諸事象や現代世界の諸地域の特色，諸地域で起こっている諸課題についてさまざまな角度から理解を深めることができる。 ○地域において社会生活を営むにあたって必要とされる基礎的知識や基本的概念（空間・環境・地域），地理的見方・考え方を身につけている。

評価方法	定期テスト(論述問題など) ノート	定期テスト(論述問題など) ノート	定期テスト(論述問題など) ノート	定期テスト(論述問題など) ノート
年５回の定期考査では，ペーパーテストによって出題範囲における習得の状況を評価します。 評定は，上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断して行います。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第Ⅱ部　現代世界の地誌的考察　導入編	1　ロシアの生活・文化 （1）シベリア鉄道 （2）サンクトペテルブルク 2アングロアメリカの生活・文化 （1）ニューヨーク （2）バンフ国立公園 3ラテンアメリカの生活・文化 （1）ブラジル （2）パナマ 4オーストラリアの生活・文化 （1）アボリジニー （2）シドニー	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a.b それぞれの地域の生活文化を意欲的に考察しようとしているかどうか。 c それぞれの地域の人口や工業の資料を見て人々の生活を理解する d それぞれの地域を実際に訪れたくなるようなレベルまで理解を深め、関心を高めているかかどうか。	学習活動への参加・態度 ノート 定期考査
2学期	2章現代世界の諸地域2節東アジア	1　中国の歩みと巨大な人口 2　中国の食生活と農業の変化 3　中国の工業化と巨大市場 4　中国の海外進出 5　朝鮮半島の歩みと文化 6　韓国の産業の発展と変化	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a.b 中国、韓国の人口や産業について考察させ、学習内容を意欲的に取り組ませる。日本とも比較しながら中国や韓国の文化や歴史を理解する c　それぞれのグラフや資料を用いて人々の生活、産業の発展を深く理解する dD 中国・韓国の気候と地形からどのような産業が発達しているのかを理解する。	学習活動への参加・態度 ノート 定期考査

2学期	3節 東南アジア 4節 南アジア	1東南アジアの歴史と文化・民族 2東南アジアの農業とその変化 3ASEANの結成と工業の発展 4ASEANの変化と課題 1南アジアの歩みとヒンドゥー教 2インドの農業と農村の変化 3発展するインドの産業と変化	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a.b 東南アジアの歴史、民族を意欲的に考察しようとしているかどうか。アジア諸国として同じ日本との比較が出来、理解する。 c それぞれのグラフや資料を用いて人々の生活、産業の発展を理解する。 d 東南･南アジアを多角的に見て理解が深まっているかどうか	学習活動への参加・態度 ノート 定期考査
2学期 3学期	5節 西アジアと中央アジア 番外編 世界文化・自然遺産	1イスラームを中心とした生活文化 2交易を軸に発展した都市 3豊かな資源と人々の生活	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a.b 学習内容を意欲的に考察しようとしているかどうか。宗教を中心に理解して西アジア日本との比較が出来ているかどうか。 c グラフや資料を用いて、西アジアと中央アジアの資源について理解し、それが世界に与える影響を考えることで、グローバルな視点を身に着けさせる d 交易の歴史を学ぶことで都市が発展した経緯を学ぶ。資源がどのような場所に存在しているのかに着目し、地形と結びつけることで地理的な思考を身に着ける。	学習活動への参加・態度 ノート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。